

平成23年度第9回教育研究評議会議事要旨

日時 平成24年1月20日（金）15時30分～17時10分
場所 大学本部2階大会議室
出席者 佛淵学長、瀬口理事、中島理事、岩本理事、宮崎理事、上野文化教育学部長、富田経済学部長、濱崎医学部長、林田工学系研究科長、藤田農学部長、遠藤教養教育運営機構長、後藤医学部附属病院副病院長、福本評議員、平地評議員、中島評議員、大島評議員
欠席者 稲岡附属図書館長、齋藤評議員、門出海洋エネルギー研究センター長
オブザーバー 川上監事 他

○ 前回議事要旨について

学長から、平成23年度第8回教育研究評議会議事要旨（案）を評議員に送付、確認したところ、加除・修正等の意見はなかったため、原案のとおり確定し、本日確定版を机上配付している旨、報告があった。

○ 審議事項

1. 教育職員の休職について

文化教育学部長から、教員の病気による長期休養を要する案件であり、審議いただきたい旨の発言があり、審議の結果了承された。

2. 国立大学法人佐賀大学特別研究員に関する規程の一部改正について

中島理事から、若手研究者の雇用機会を増やすため、特別研究員に係る経費を見直すことに伴い、所要の改正を行うものであり、審議いただきたい旨の発言があり、審議の結果了承された。

○ 報告事項

1. 平成24年度国立大学法人佐賀大学運営費交付金予定額（政府案）の概要について

財務課長から、公表された平成24年度の運営費交付金の予定額（政府案）について報告があった。また、平成24年度政府予算案に新規分として組み込まれている国立大学改革強化推進事業についても、併せて報告があった。

2. 平成24年度国立大学法人等施設整備費実施予定事業等について

企画管理課長から、公表された平成24年度施設整備費実施予定事業及び平成23年度補正事業について報告があった。

3. 全学委員会からの報告について

瀬口理事及び岩本理事から、担当する全学委員会の検討状況について報告があった。

4. その他

・佐賀大学 IR について

学長から、これまでの自らの教員として、また副病院長、医療情報部長及び学長として行ってきた取組の実績を踏まえ、「根拠に基づく夢のある大学運営」、「面倒見の良い大学」、「地域に愛される大学」を実現するために、佐賀大学版 IR の構築及び学内ヴァーチャルプロジェクト研究所の構想について説明があった。併せて、IR 構築に向けた準備状況、現在作成している本学の4つの観点における状況分析資料等についても、説明があった。また、学内のヴァーチャルプロジェクト研究所構想と併せて、事務職員における部局横断的プロジェクトについて検討を行っている旨の発言があった。

その他、学長から、各部局で行っている各種委員会等での検討にあたって、必要なデータや分析資料等があれば連絡してほしい旨の発言があった。また、今後は管理部門から支援部門への事務職員体制のシフトを想定している、そのためにも IT 化と公正な状況分析が必要であるため、引き続き各部局に協力いただきたい旨の発言があった。

・佐賀大学美術館・正門整備の進捗状況について

総務課長から、美術館及び正門整備の進捗状況について報告があり、美術館を含めた正門エリアに関するアイデアを、平成24年2月10日まで募集している旨の発言があった。

また本学 HP のトップページにある「佐賀大学の取り組み」欄に随時、状況を掲載する旨の報告が、併せて後日連絡する美術館設置の募金についての協力依頼があった。

・大学評価委員会の廃止に係る手続きについて

岩本理事から、前回の第8回教育研究評議会の審議事項4において指摘があった、大学評価委員会の廃止に係る手続きについて、12月21日役員会において大学評価委員会規則の廃止に関する規則を諮り、必要な手続きを行っているとの報告があった。

併せて、大学評価委員会の審議事項は、全て中期目標・中期計画実施本部に引き継ぐとした場合、学部代表者でない実施本部委員に判断しかねる内容の審議が可能かとの指摘について、教育研究評議会での審議及び大学運営連絡会での報告等の機会を十分に活用し、必要に応じて中期目標・中期計画実施本部においても学部の意見を適切に聴取、反映することで対応したい旨の報告があった。

・平成24年度大学入試センター試験実施の問題点について

瀬口理事から、平成24年1月14～15日に実施した大学入試センター試験の際に発生した、本庄地区第一試験場における歩行障害のある受験生への誘導ミス問題について報告があり、現在その原因調査と今後の改善について検討しているとの説明があった。

○ 審議事項

3. 非公開

*人事課で記録（非公開）